

第 34 回  
おいしい水づくり推進懇話会  
資料

千葉県企業局

第 34 回おいしい水づくり推進懇話会

令和 3 年 3 月 16 日 (火)

1	新計画について .....	- 3 -
	(1) 概要について .....	- 3 -
	(2) パブリックコメントの実施について.....	- 3 -
	(3) 名称について .....	- 3 -
	(4) 新キャッチフレーズについて .....	- 3 -
2	「第2次おいしい水づくり計画」令和2年度の取組について	- 5 -
	(1) おいしい水づくりの技術的な取組 .....	- 5 -
	① 残留塩素低減化.....	- 5 -
	(2) 安全でおいしい水キャンペーン .....	- 7 -
	① オフィシャルサイト .....	- 7 -
	② 水道出前講座.....	- 8 -
	③ 県水だより .....	- 9 -
	(3) お客様とのコミュニケーション .....	- 10 -
	① 水質検査体験.....	- 10 -

# 1 新計画について

## (1) 概要について

別紙参照

## (2) パブリックコメントの実施について

令和3年1月29日から令和3年3月1日までの期間で、ホームページに掲載し、幕張庁舎・文書館等に資料を備え付け意見募集を行ったところ、意見の提出はなかった。

## (3) 名称について

名称案 安全・おいしい水プロジェクト2021

## (4) 新キャッチフレーズ

「第2次おいしい水づくり計画」においては、計画のキャッチフレーズ「おいしくなったよ！千葉の水」をポスターやリーフレットなどに記載し、計画のPRに活用してきた。



図1-1 キャッチフレーズの活用例（ポスター、リーフレット）

令和3年4月から始まる新計画のPRを図るため、表1-1のとおり新キャッチフレーズを募集したところ、162名から279作品の応募があった。

表 1-1 キャッチフレーズ募集状況

募集作品	キャッチフレーズ（最長15字程度、句読点は字数に含めない）
作品テーマ	「水道水のおいしさ」や「水道水の安全性」についての理解や関心が深められ、お客様に広くアピールできるもの
応募資格	給水区域内に在住、在学、在勤の方
募集期間	令和3年1月29日～2月18日
広報手段	県水だより（1月号に予告）、ホームページ、メールマガジンなど
応募方法	メールまたはハガキ
応募者数	162名
応募作品数	279作品

新計画のキャッチフレーズとして、応募作品の中から最優秀賞1作品を選定する。

## 2 「第2次おいしい水づくり計画」令和2年度の取組について

### (1) おいしい水づくりの技術的な取組

#### ① 残留塩素低減化

「第2次おいしい水づくり計画」に基づき、給水栓における残留塩素濃度 0.4mg/L 以下を目標とし、残留塩素の低減化を進めているところである。

令和2年度は、令和元年度に塩素多点注入方式を導入した姉崎分場と、姉崎分場から送水を受ける市原分場の配水区域（図 2-1-1）を対象に、最夏期及び冬期に残留塩素低減化試験を行った。

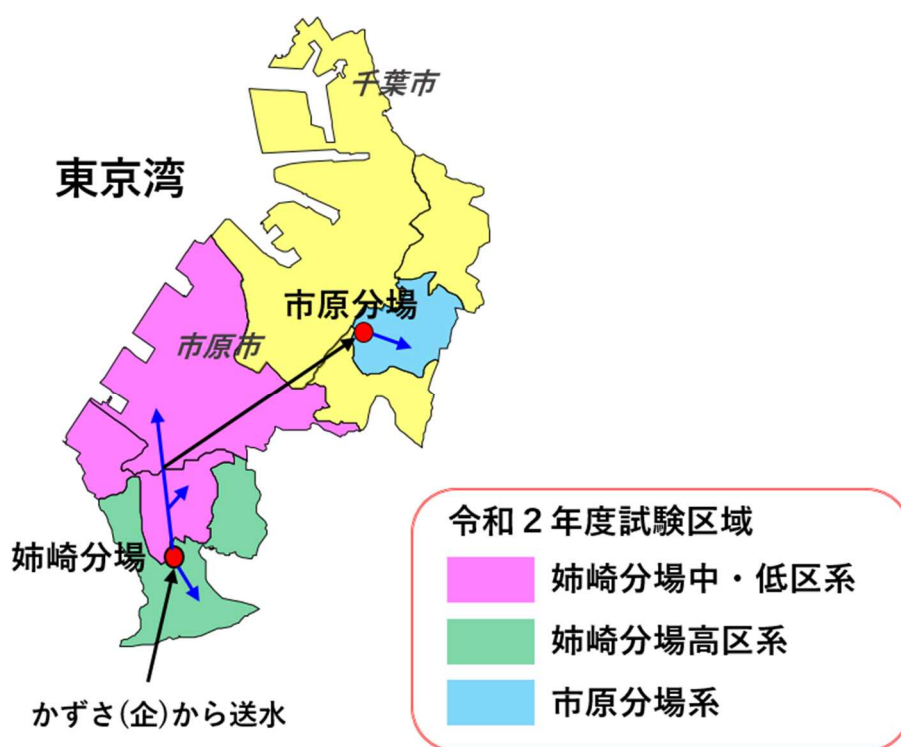


図 2-1-1 令和2年度残留塩素低減化試験区域

試験方法は、姉崎分場及び市原分場の配水残留塩素濃度を通常時よりも 0.05mg/L～0.2mg/L 低減した。この間、区域内の消火栓等に設置した連続測定装置と、当局が公園等に常時設置している水質自動監視装置で残留塩素等の測定を行った。

試験結果から検討した、姉崎分場及び市原分場の配水残留塩素管理目標値変更案を表 1-1 に示す。

姉崎分場中・低区系については、最夏期及び春秋期は 0.05mg/L、夏期は 0.1mg/L の低減とした。

姉崎分場高区系については、最夏期、春秋期及び冬期は 0.10mg/L、夏期は 0.15mg/L の低減とした。

市原分場系については、最夏期・夏期・春秋期は 0.10mg/L、冬期は 0.05mg/L の低減とした。

表 1-1 姉崎分場及び市原分場の配水残留塩素管理目標値の変更案

配水系統	時期	水温[°C]	配水残留塩素管理目標値[mg/L] (分場出口)		
			現状	変更案	増減
姉崎分場 中・低区系	冬期	15 未満	0.60	0.60	0
	春秋期	15 以上 20 未満	0.70	0.65	-0.05
	夏期	20 以上 25 未満	0.80	0.70	-0.10
	最夏期	25 以上	0.80	0.75	-0.05
姉崎分場 高区系	冬期	15 未満	0.60	0.50	-0.10
	春秋期	15 以上 20 未満	0.70	0.60	-0.10
	夏期	20 以上 25 未満	0.80	0.65	-0.15
	最夏期	25 以上	0.80	0.70	-0.10
市原分場	冬期	15 未満	0.50	0.45	-0.05
	春秋期	15 以上 20 未満	0.60	0.50	-0.10
	夏期	20 以上 25 未満	0.60	0.50	-0.10
	最夏期	25 以上	0.70	0.60	-0.10

この変更案をもとに、姉崎分場及び市原分場の配水残塩管理目標値を令和 3 年度の春秋期から変更する予定である。

## (2) 安全でおいしい水キャンペーン

### ① オフィシャルサイト

「おいしい水づくり計画オフィシャルサイト」は、当局のおいしい水づくりへの取組や水道水に関する情報を発信するため、平成 19 年度に開設し、随時更新を行っている。今年度のオフィシャルサイトによる情報発信は、1 月末時点で計 23 回行っている。

主な内容は、毎月 1 回更新している「水のおいしいクイズ」のほか、水質検査体験などの告知・開催報告、キャッチフレーズの募集等である。更新時には、メールマガジン、ポタリちゃんの Twitter を活用して、更新内容を発信している。

オフィシャルサイトの 1 月末時点の月別アクセス件数は図 2-2-1、オフィシャルサイトの年度別アクセス件数は図 2-2-2 に示すとおりである。上半期や 12 月のアクセス件数が昨年度より大幅に増加した。これは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、衛生面への関心の高まりから、水道水に関する情報を得ようとする人や、在宅でホームページを閲覧する人が増えたことによるものと考えられる。

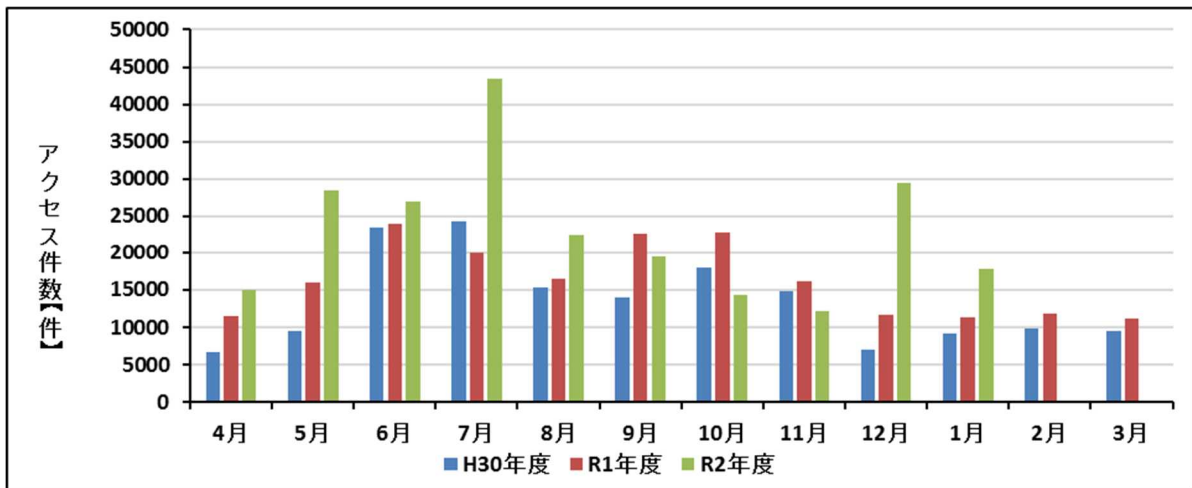


図 2-2-1 月別オフィシャルサイトアクセス数

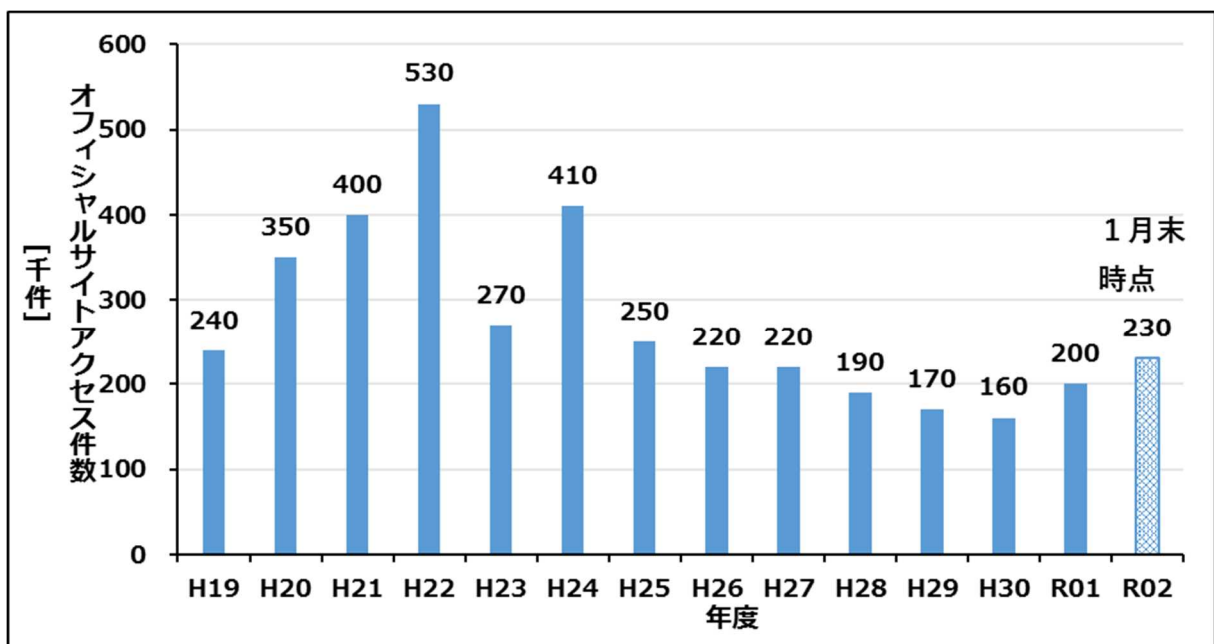


図 2-2-2 年度別オフィシャルサイトアクセス数

## ② 水道出前講座

水道出前講座は、おいしい水づくりに関する取組を紹介するとともに、水道水の安全性やおいしさを知っていただく機会を提供するため、小学生や一般のお客様を対象に平成19年度から実施している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年4月から8月にかけて出前講座を中止していたが、感染防止対策を講じた上で、9月から再開した。しかし、令和3年1月の緊急事態宣言の発出を受け、再度中止した。

12月末時点での実施件数は14箇所19件（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加人数によっては、1回当たりの参加人数を少なくするため、同一箇所で開催した）であり、受講者数は約1,300人、すべて小学校での開催であった。

水道出前講座の受講者数及び実施回数の推移を、図2-2-3、図2-2-4に示す（令和2年度については、1月末時点での受講者数及び水道出前講座開催数）。一般のお客様からの申し込みがなかったことと、4月から8月にかけての中止の影響により、受講者数及び実施回数が減少した。

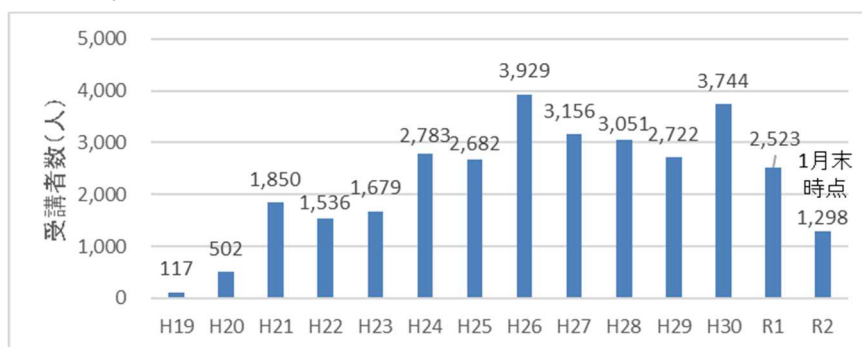


図 2-2-3 水道出前講座受講者人数

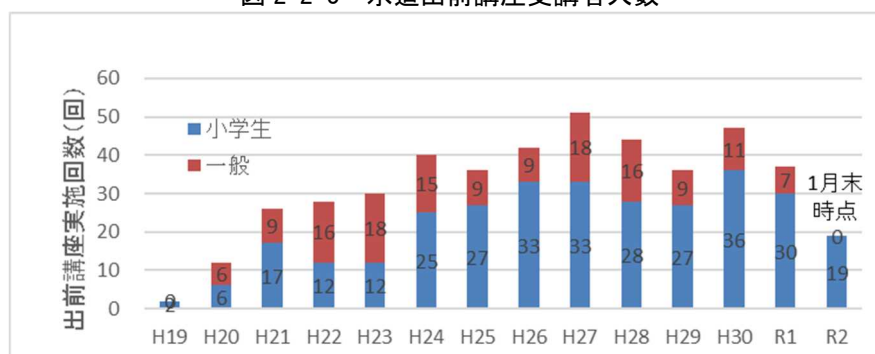


図 2-2-4 水道出前講座実施数



図 2-2-5 紙芝居の様子



図 2-2-6 浄水処理実験の様子



### ③ 県水だより

令和2年度の県水だよりは年4回発行し、9月1日発行の紙面に「水道出前講座」、1月1日発行の紙面に「水道出前講座」、「キャッチフレーズ募集予告」を掲載した。

水道出前講座の記事には、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により開催を中止とする場合があることなどを付け加えた。

**開催は無料です!** **水道出前講座を希望する学校・団体を募集します**  
 千葉県営水道では、水道水のことを楽しく学んでいただく出前講座を行っています。何気なく使っている水道水、意外と知らないことがあるかも。お申し込みをお待ちしています!

**新型コロナウイルス感染症の状況により、講座の開催を中止とさせていただきます。**

**【講座内容】** ○安全でおいしい水はどうやってできているのかな?(紙芝居) ○浄水処理実験のデモンストレーション ○水のおいしいクイズにチャレンジしよう!  
**90分程度**

**【実施期間】** 1年を通じてお客様の希望される日時にあわせ実施しています。

**【対象者】** 給水区域内の小学校(主に4年生向け)または一般の団体(自治会など)

**【申込方法】** はがき又はFAXで、  
 ①団体名 ②申込代表者氏名 ③連絡先 ④参加人数 ⑤開催希望日時(第3希望まで)  
 ⑥実施予定会場をご記入の上、下記あてに申し込みください。(開催日は、調整させていただく場合があります。)

**【事前確認事項】** ・室内の換気ができ、人と人の距離を十分にとることができる会場の確保をお願いします。  
 ・参加される方は手指消毒やマスクの着用などの感染症防止対策をお願いします。  
 ・発熱等症状のある方は参加をご遠慮くださいますようお願いいたします。

**【申込・問い合わせ先】** 〒262-8512(郵便番号記入により住所省略可)  
 千葉県企業局水道部計画課おいしい水づくり推進班  
 TEL:043-211-8632 FAX:043-274-9804

詳しくは「おいしい水づくり計画オフィシャルサイト」を見てね!

千葉県営水道 出前講座 🔍 で検索

図 2-2-7 県水だより-水道出前講座

9月1日発行

**水道出前講座を希望する学校・団体を募集します** **開催は無料です!**

千葉県営水道では、安全でおいしい水道水のことを楽しく学んでいただく出前講座を行っています。何気なく使っている水道水、意外と知らないことがあるかも。お申し込みをお待ちしています!

**【講座内容】** ○安全でおいしい水はどうやってできている?(紙芝居) ○浄水処理実験のデモンストレーション ○水のおいしいクイズにチャレンジしよう!  
**90分程度**

**【実施期間】** 1年を通じてお客様の希望される日時にあわせ実施しています。

**【対象者】** 給水区域内の小学校(主に4年生向け)または一般の団体(自治会など)

**【申込方法】** はがき又はFAXで、  
 ①団体名 ②申込代表者氏名 ③連絡先 ④参加人数 ⑤開催希望日時(第3希望まで) ⑥実施予定会場をご記入の上、下記あてに申し込みください。(開催日は、調整させていただく場合があります。)

**【事前確認事項】** ・室内の換気ができ、人と人の距離を十分にとることができる会場の確保をお願いします。  
 ・参加される方は手指消毒やマスクの着用などの感染症防止対策をお願いします。  
 ・発熱等症状のある方は参加をご遠慮くださいますようお願いいたします。

**【申込・問い合わせ先】** 〒262-8512(郵便番号記入により住所省略可)  
 千葉県企業局水道部計画課おいしい水づくり推進班  
 TEL: 043(211)8632 FAX: 043(274)9804

**新型コロナウイルス感染症の状況等により、講座の開催を中止とさせていただきます。**

千葉県営水道 出前講座 🔍 で検索

図 2-2-8 県水だより-水道出前講座

1月1日発行

**予告 おいしり水のキャッチフレーズ募集!!**

令和3年度から新計画に移行する「おいしい水づくり計画」の新しいキャッチフレーズを募集します!  
 応募方法など詳しくは、令和3年2月初め頃ホームページでご案内予定です。

**現在のキャッチフレーズ** → おいしくなったよ!千葉の水

問 い | 千葉県企業局水道部計画課おいしい水づくり推進班  
 合わせ先 | TEL: 043-211-8632 FAX: 043-274-9804

図 2-2-9 県水だより-キャッチフレーズ募集予告  
 1月1日発行

### (3) お客様とのコミュニケーション

#### ① 水質検査体験

水質検査体験制度は、お客様が御自宅の水道水の水質検査を行い、結果を報告していただく制度で、お客様御自身で水道水の安全性を確認していただくとともに、当局が広範囲のデータを得ることを目的としている。

令和2年度の実施状況は、表2-3-1のとおりである。300名の募集に対し、例年応募者は約200名であったが、令和2年度は334名と非常に多くの応募があった。応募者が増えた要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、ホームページや県水だよりをご覧になる方が多かったことや、御自宅でできる取組への需要が高まったことが考えられた。

表 2-3-1 令和2年度水質検査体験実施状況

募集人数	約300人
募集期間	令和2年5月22日～7月5日
広報手段	県水だより、ホームページ、メールマガジン
応募方法	インターネット
応募人数	334名（参考：R1 210名、H30 218名、H29 227名、H28 140名）
対象者数	321名（給水区域外在住等13名選外）
報告期間	令和2年8月1日～8月31日
報告回数	報告期間内で当選者の都合が良いときに1回
報告内容	・簡易水質検査結果（残留塩素、pH、全硬度） ・感覚検査結果（水のにごり、におい、味） ・水道水に関するアンケート（応募時と検査結果報告時の2回）
報告方法	インターネット
報告者数	295名（回答率92%）

#### 1) 簡易水質検査結果

残留塩素濃度（水道法施行規則による基準：0.1mg/L以上、水質管理目標設定項目1.0mg/L以下）は、0.4mg/L～0.7mg/Lと回答された方が50%と最も多く、これは当局の8月の給水栓の水質検査結果（0.4mg/L～0.8mg/L）と近い測定結果であった（図2-3-1）。

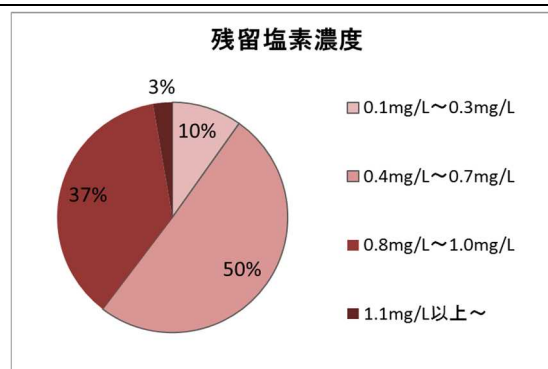


図 2-3-1 簡易水質検査「残留塩素」の結果 (N=295)

pH（水質基準項目の基準値：5.8以上8.6以下）は、7.5～7.8の回答が最も多く52%、次いで7.1～7.4以下と回答した方が34%であった。これは当局の給水栓のpH7.5前後と近い測定結果であった（図2-3-2）。

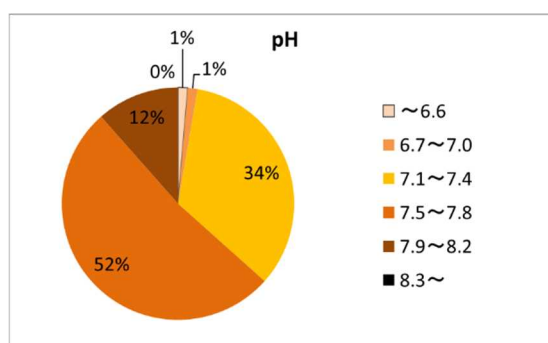


図 2-3-2 簡易水質検査「pH」の結果 (N=295)

硬度（水質基準項目の基準値：300mg/L以下）は、51mg/L～100mg/L以下と答えた方が54%と最も多く、これは当局の水質検査結果（60～100mg/L程度）と近い測定結果であった（図2-3-3）。

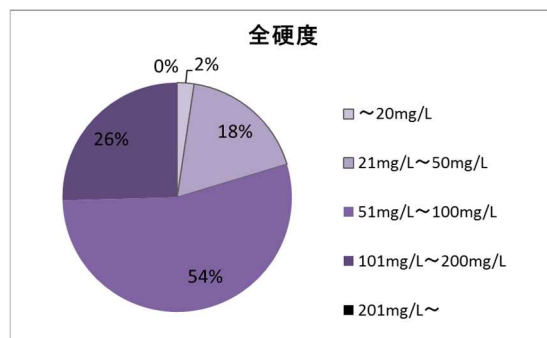


図2-3-3 簡易水質検査「硬度」の結果（N=295）

## 2) 感覚検査結果

水道水のおいしさについては、塩素臭は77%、塩素臭以外のおいしさについては86%の方が「感じない」と回答した（図2-3-4）。

水道水のおいしさについては、60%の方が「おいしい」「ややおいしい」と回答した（図2-3-5）。

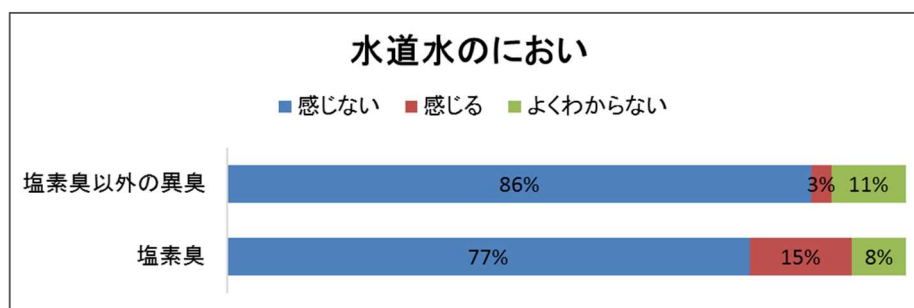


図2-3-4 感覚検査「水道水のおいしさ」の結果（N=295）

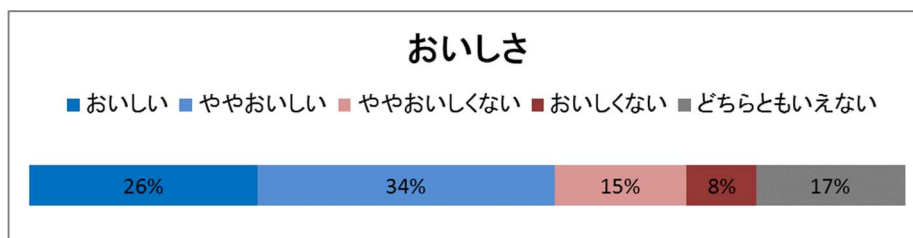


図2-3-5 感覚検査「水道水のおいしさ」の結果（N=295）

## 3) アンケート結果（「水質検査体験」実施前後の比較）

報告者295名を対象として、「水質検査体験」実施前後（応募時と検査結果報告時の2回）で水道水に対する意識に変化があるかアンケート結果を比較した。

### ア 水道水の飲み水としての満足度

水道水の「飲み水としての満足度」（図2-3-6）については、「満足している」と「どちらかといえば満足している」との合計では実施前の81%から実施後には79%とほぼ横ばいであったが、「満足している」と回答した方の割合が実施前の34%から実施後には39%と増加した。お客様自身が御自宅の水道水の簡易水質検査を行うことによって、「満足している」に転じる方が増えたと考えられる。

一方、「どちらかといえば不満である」回答した方が「水質検査体験」実施後になぜか増加した要因としては、募集時期（5～7月）よりも検査時期（8月）の方が、水温が高いことや、残留塩素濃度が最夏期設定で高いことなどが考えられる。

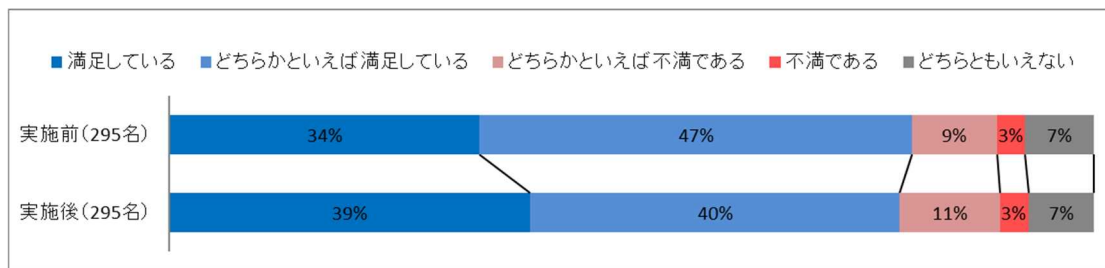


図 2-3-6 アンケート「水道水の飲み水としての満足度」の結果 (N=295)

### イ 水道水の安全性

「水道水の安全性」(図 2-3-7)については、「安心である」、「やや安心である」と回答した方の割合は、水質検査実施前から 86%と高い水準であり、実施後は 87%であった。一方、「やや不安である」と回答した方は実施前の 9%であったが、実施後は 11%であった。

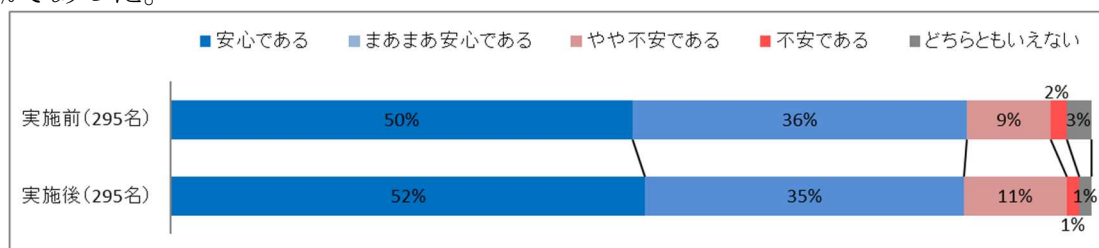


図 2-3-7 アンケート「水道水の安全性」の結果 (N=295)

### ウ 水道水の安全性に不安がある理由

「水道水の安全性」の結果で「不安」、「やや不安」と回答した方に、「水道水の安全性に不安がある理由(複数回答)」(図 2-3-8)について質問したところ、実施前は回答が 32 人 71 件であったが、実施後は 37 人 95 件であった。

今年度回答数が増加した理由としては、実施前(令和 2 年 5 月下旬~7 月上旬)よりも実施後(令和 2 年 8 月)の方が、新型コロナウイルス感染者数が増加していたことから、水道水に対する不安感が増した可能性がある。

「水道水の安全性に不安がある理由」で上位だった「水源(河川・湖沼・地下水など)が汚れているから」、「水道水をつくる過程で、消毒剤などいろいろな薬品が使われていると思うから」及び「水道管の管理に不安があるから」の 3 項目について、当局の水道水の安全性に向けた取組を紹介した資料を参加者へ送付し、啓発に努めた。

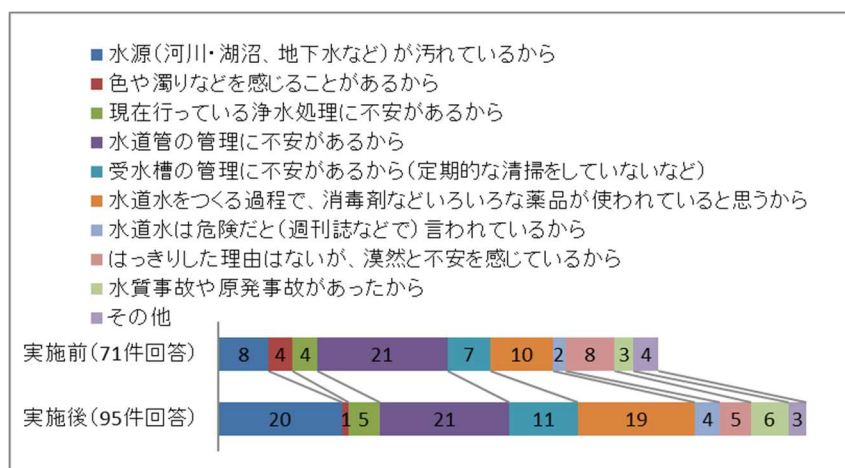


図 2-3-8 アンケート「水道水の安全性に不安がある理由(複数回答)」の結果